

## パネルディスカッション

# “私の好きな日本、変わって欲しい日本”を開催して

菊池 正夫(JECK会員)

### 1. パネルディスカッション開催のねらい

永年日本に滞在して、学生生活や仕事に取組んで来られた3人の外国籍のゲストにパネリストをお願いして、日本に対する想いを率直に語って頂き、参加した皆さんとの対話の中から、これからの異文化交流の進め方について留意すべきことを学び、また外国籍の人達との友情を深めて行くための手掛かりが得られないかと期待して、この会合を企画しました。

### 2. パネリストの横顔

- \* Mr.フレディ・アルミホス (Fredy Armijos)  
エクアドル・キト市出身、拓殖大学政治学科卒  
ミヤリサン製薬(株)事業戦略部スタッフ
- \* Mr.チョモラ・ミケカ (Chomora Mikeka)  
アフリカ・マラウイ出身、横浜国立大学大学院博士課程在学中  
専門分野 電子・通信工学、携帯電話ソフトの研究開発に従事
- \* Mrs. 堀川裕未 (カ・ピン)  
中国・北京市出身、父は元国鉄製造工場の高級エンジニア(技師長)  
オーストラリアで日本の証券マンと結ばれ、現在、中目黒商店街に  
ブティックの店を出し店長を務めている。2男1女の母親。



↑チョモラさん  
フレディさん



←カ・ピンさん

### 3. フレディ・アルミホスさんのプレゼンテーション

私は南米エクアドルの首都、キト市で生まれ、育ちました。私の家は比較的裕福でしたが、7才の時に両親が離婚、親から贈られた預金を気儘な生活を送ったため、直ぐ使い果してしまい、厳しい生活も経験しました。どうした訳か子供の頃に、腰に日本刀を差し、家来を従えた侍大将になった夢を見て、日本に憧れました。高校を終えると直ぐ日本に来て大学に入り、政治学を学びました。卒業後は今の会社で事業提携などの仕事で海外を飛び歩いています。またボランティアとしてJECKの国際協力活動などをサポートしています。趣味は小型機の操縦、スカイダイビング。サルバドール・ダリ風の抽象画を描き個展を開いたりして楽しんでいます。

<日本の好きなおとこ>

- \* 「日本」という言葉の響き
- \* 皆の約束(ルール)を守りたい気持ち
- \* 日本の女性。恋人にするなら大和撫子がいい
- \* 日本の米とビール

- \* 日本の技術と経済力と組織力
- \* この国には侍がいた。その魂を感じる
- \* 日本の年寄りの勉強に対する気持ち
- \* 相手のことを気遣うところ(文化)



<日本の嫌いな、変わって欲しいところ>

- \* 日本の政治家。特に国会で寝ている政治家
- \* 物事をはっきり言わないところ
- \* 自分の国の良さが分らないところ
- \* 愛国心。日本人であることを誇りに思わないこと(特に若い世代)
- \* 多くの家庭は家族の絆がそれ程、強くないように感じる

- \* 教育は易しすぎる
- \* マスメディアはもっと世界の情報を伝えて欲しい
- \* 自殺問題、近所とのコミュニケーション不足
- \* 食べ物が捨てる程、ある



### 4. チョモラ・ミケカさんのプレゼンテーション

マラウイ共和国はタンザニア、モザンビーク、ザンビアなどに囲まれ、アフリカ大地溝帯にあるマラウイ湖西岸に位置した人口約1,500万人、面積は韓国より少し広く、1964年に独立した新しい国です。タバコ、茶、コーヒーなどを輸出している農業国です。ウラニウム鉱石の採掘場もあり、インターネットのサービス供給企業もあります。

来日した動機としては、子供の頃、父親が大切にしていたラジオで人の声を聞いてびっくり、「この箱の中に何人の大人が入っているのだろうか、魔法使いはどこにいるの」、と不思議に思い、父が留守の時にそのソニーのラジオを分解して、サンヨーのトランジスターを見つけ、これを外してAMラジオを自分で組み立ててみました。そして、日本に行ったら、もっと上手にラジオを作れるだろうと考えて、マラウイ大学を卒業すると日本にやってきました。

彼の横浜国立大学の修士論文はレベルが高く、イタリアのトリノ市で開催された国際会議で発表され、開発されたソフトは今、実用化が進められているとのことでした。